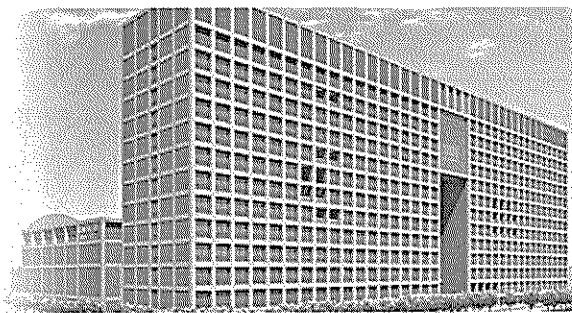


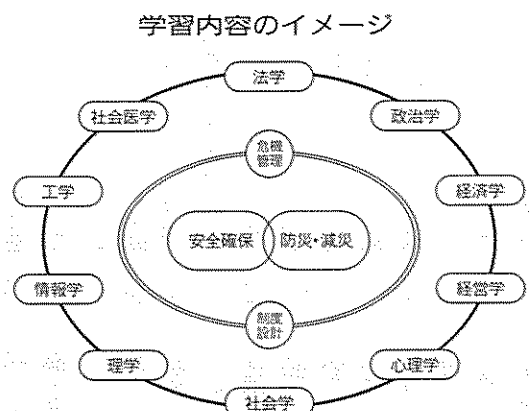
関西大学・日本初の防災・危機管理の総合的学部

大学院「社会安全研究科」も同時開設

関西大学は2010年4月、現在建設中の高槻ミューズキャンパス(大阪府高槻市)に社会安全学部と大学院社会安全研究科を設置する。学部と大学院の同時設置に認可が下りるのは私立大学では初めて。同大学では、複雑化・巨大化・社会化している現代のリスクに対して、国・企業、地方自治体、家庭などが連携・協力して対応すること、人々の防災意識の向上に加え、事故や事件の被害を最小限に食い止める「減災」の認識が不可欠と判断。防災・減災に貢献できるスペシャリストの育成を目指して、幅広い学門分野から多彩なカリキュラムを主要科目に加え、経験豊富な講師による質の高い講義を予定している。



高槻ミューズキャンパスの完成イメージ



学習内容のイメージ

ンできる、社会貢献型の人材育成」を教育理念に掲げる同学部では、防災・減災、事故防止、危機管理に関する実践的なマネジメント方法を、さまざまな学問と結びつけた

から幅広い支援などの防災・減災関連の科目を中心に学ぶ。1年次は両コースで学習の基礎となるリスク論やリスク分析のための確率論、自然災害の歴史、生活の危機と安全といった内容を共通専門科目として勉強。2年次からはコース内容に沿って学習を進展させ、コースごとの実習も導入される。

ける狙いで、在学期間を通じて「国際防災・人道支援協議会」に加盟する世界的国際研究機関や実務機関での就業体験の機会が与えられる。卒業生の進路には、各企業においてコンプライアンス・法務・事業継続計画(BCP)などの高いリスクマネジメントスキルが求められる部門への配属や、公務員としての安全なまちづくりへの貢献、NPO法人での活躍などを想定している。学部長・研究科長には、阪神・淡路大震災記念・人と防災未来センター長で防災・減災学の世界的権威である河田恵昭氏を招くなどして万全な態勢を整えている。

から幅広い支援などの防災・減災関連の科目を中心に学ぶ。1年次は両コースで学習の基礎となるリスク論やリスク分析のための確率論、自然災害の歴史、生活の危機と安全といった内容を共通専門科目として勉強。2年次からはコース内容に沿って学習を進展させ、コースごとの実習も導入される。

ける狙いで、在学期間を通じて「国際防災・人道支援協議会」に加盟する世界的国際研究機関や実務機関での就業体験の機会が与えられる。卒業生の進路には、各企業においてコンプライアンス・法務・事業継続計画(BCP)などの高いリスクマネジメントスキルが求められる部門への配属や、公務員としての安全なまちづくりへの貢献、NPO法人での活躍などを想定している。学部長・研究科長には、阪神・淡路大震災記念・人と防災未来センター長で防災・減災学の世界的権威である河田恵昭氏を招くなどして万全な態勢を整えている。

防災・危機管理のスペシャリスト育成を目的に

関西大学では新学部設置 機管理を学べる学部・研 ③小学校・中学校・高校 の三つの方針で環境を整 置について、①理系・文 究科とするの学部設置と ②大学・大学院を一つの 系にかかわらず防災・危 同時に大学院を開設する ④キャンパスで展開する「安全・安心をデザイ

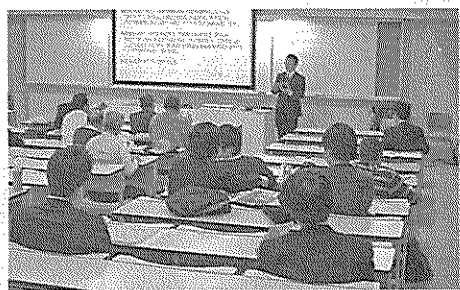
会 部 協 支 保 国 損 四

香川大学防災コンピテンシー養成講座で

防災マップの作成を講義

損保協会四国支部 全安心推進グループの (鈴木文明事務局長) は香川大学の要請を受け、「防災コンピテンシー養成講座(災害に備える)」の授業を支援。生活サービス部安

で、2004年に高松市が台風の被害を受けたのがきっかけとなつた。この時の台風では高潮と内水ははんらんなどが起き、それまで大きな被害を経験したこ



香川大学での授業の様子

講座を受け持った今村氏は「今後を担う若者に防災の意識を高めてもらうこと。開催場所が大学ということ。開催場所とて意識の高い人が多く、啓発には最適な場。また、損保協会が進めている

は防災・防犯、交通安全など、地域全体の安心につながる」と意義を述べる。12月3日に行われた授業では、ほつさい探検隊の様子を映したDVDも紹介するなど、防災マップの作成を中心、損保協会の社会貢献活動などを約1時間半かけて紹介した。

損保協会では大学との連携も重視しており、今村氏は他大学からの要望があれば、スケジュールや人員の都合もあるが、可能な限り要望に応えたいという。



今村氏



野々村氏

その取り組みの中で、集中豪雨だけでなく防災全般の専門家育てるプログラムを作る必要があるとの結論からこの事業がスタートした。今年度後期授業は10

月から1月までの15回。学生以外にも地域の自主防災組織を運営する社会人も参加して最終的には防災士認定を目指す。その授業の一環として防災マップの作成科目を損保協会が受け持った。

『ほつさい探検隊マップ』づくりは小学生が中心であるものの、教師や保護者、地域の住民が一緒に町を探索し、町を知り、地域でどんな人が暮らしているかを知ることが

香川大学工学部の野々村敦子准教授は、防災士養成に力を入れている理由について、「文科省の防災教育支援事業の中でも取り上げられており、防災教育の取り組みをどうすれば広く普及できるか

を身に付けて欲しい」と話す。社会安全学部と同時に設置される大学院社会安全研究科では、安全・安心な社会の実現をリードする研究者や専門家の育成を目的として、社会シ

www.uchiyama.co.jp

内山鑑定

365日 対応しております

株式会社 内山鑑定事務所

0120-180-598

受付時間 9:00~17:00